

# 医療費情報総合管理分析システム に要する経費

# 医療保険の統計調査に係るシステム概要図

## 医療費供給面統計システム

### 【医療費動向の早期把握・分析】

#### 【支給側の視点による分析】

##### 制度別医療費動向分析システム

審査支払機関の支払請求データにより制度別、被保険者・被扶養者別、都道府県別にみた医療費動向を分析 「制度別医療費の動向」を公表

#### 【受給側の視点による分析】

##### 医療機関医療費動向分析システム

医療機関別の医療費データ及び医療施設調査等の医療機関属性情報を用いて医療機関の種類、規模、特性別に医療費動向を分析 「医療機関別医療費の動向」を公表

### 【医療費の増加要因や制度改正・診療報酬改定の影響を分析】

##### レセプト集計システム

電子レセプトデータを用いて病院・診療所における病床機能別・診療行為別・疾病別等の医療費の動向を集計分析

## 医療費情報総合管理分析システム

### 【保険者の事業状況を把握・分析】

##### 健康保険事業状況報告システム

健保協会、健保組合からの事業状況報告データを精査、集計し各種統計表を作成

##### 国民健康保険事業状況報告システム

市町村、国保組合からの事業月報・年報データを精査、集計し各種統計表を作成

##### 後期高齢者医療制度事業状況報告システム

都道府県の各広域連合から事業状況報告データを精査、集計し各種統計表を作成

### 【保険財政への影響要因となる事項について実態を調査分析】

##### 健康保険被保険者実態調査報告システム

医療機関別の医療費データ及び医療施設調査等の医療機関属性情報を用いて医療機関の種類、規模、特性別に医療費動向を分析 「医療機関別医療費の動向」を公表

##### 国民健康保険実態調査報告システム

国保被保険者の年齢、所得、職業等の実態や保険者の保険料(税)賦課状況や被保険者の異動状況を調査分析し各種統計表を作成

##### 後期高齢者医療制度被保険者実態報告システム

後期高齢者医療制度の被保険者の年齢、所得や保険料賦課状況等の実態を調査分析し各種統計表を作成

##### 医療給付実態調査報告システム

レセプト情報を用いて医療に要する費用に関する地域別、年齢別又は疾病別の状況等を調査分析し各種統計表を作成

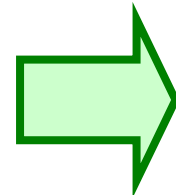
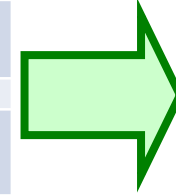
##### 医療経済実態調査(保険者調査)分析システム

保険者の土地建物の資産保有状況等の実態を調査分析し、保険者の財政状況の実態を把握するための基礎資料を作成

### 【医療費の増加要因や制度改正・診療報酬改定の影響を分析】

##### 調剤報酬動向分析システム

電子レセプトデータを用いて調剤薬局における調剤技術料、薬剤料の動向や医薬品の種類別の使用状況を集計分析



様々な情報を収集  
管理し高度な分析や  
迅速な検索を容易に  
行う

各種データを相互活  
用することにより  
様々な視点による医  
療費分析を実現

# 医療保険に関する基本的な統計調査及び分析（一覧）

## 1. 事業状況報告（月報・年報）

～医療保険の保険者からの適用・給付・財政等事業状況の報告～

- (1) 全国健康保険協会管掌健康保険事業状況報告
- (2) 健康保険組合事業状況報告
- (3) 船員保険事業状況報告
- (4) 国民健康保険事業状況報告
- (5) 後期高齢者医療事業状況報告 ※平成19年度までは老人医療事業状況報告を実施

## 2. 各種被保険者実態調査

～医療保険各制度の年齢構成、報酬・所得、世帯構成等を把握～

- (1) 健康保険被保険者実態調査 ※協会けんぽ及び健保組合を対象
- (2) 船員保険被保険者実態調査
- (3) 国民健康保険実態調査
- (4) 後期高齢者医療制度被保険者実態調査

## 3. 制度横断の実態調査

～全医療保険制度（共済も含む）横断的に年齢・疾病等別の医療費の状況、保険者の財政状況等を把握～

- (1) 医療給付実態調査 ※平成19年度までは国民健康保険医療給付実態調査を実施
- (2) 医療経済実態調査（保険者調査） ※中央社会保険医療協議会における調査

## 4. 最近の医療費の動向（メディアス）

～審査支払機関、NDB（ナショナルデータベース）のデータから迅速に医療費動向を把握～

- (1) 医療費供給面統計（医療機関メディアス）
- (2) 制度別医療費動向分析（制度別メディアス）
- (3) 調剤報酬動向分析（調剤メディアス） ※電算処理分の調剤レセプトの内容を詳細に分析

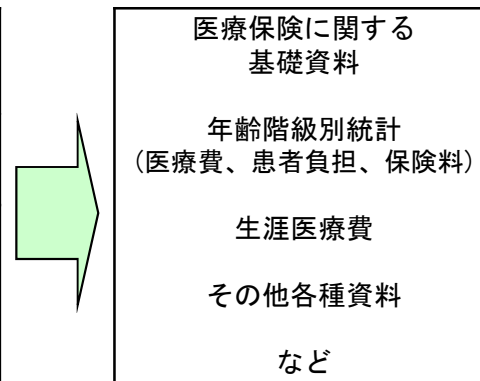
# (参考1) 体系イメージ

## 医療保険に関する調査・分析の体系

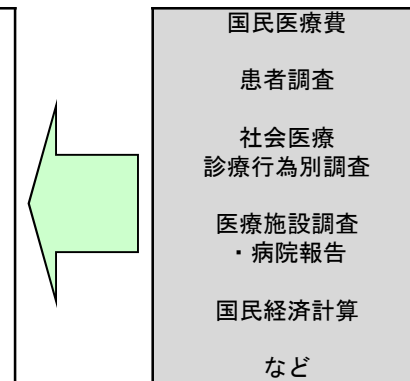
### 【医療保険の基本的な統計・調査】

(医療保険制度等)			保険者よりデータ収集			審査支払機関 NDBよりデータ収集
			事業統計 (月報・年報)	(被保険者) 実態調査	医療給付 実態調査	
被用者 保険	健康保険	協会けんぽ	協会けんぽ 月報・年報	健保実態  (日雇実態)	医療給付  実態調査	医療費の動向  調剤メディアス トピックス  医科メディアス(予定※)
		健保組合	健保組合 月報・年報			
	船員保険		船員保険 月報・年報	船保実態		
	共済組合		各共済の 事業統計等	各共済の データ等		
地域 保険	国保	市町村国保	国保月報 ・年報	国保実態		
		国保組合				
	後期高齢者医療制度		後期高齢者 月報・年報	後期高齢者 実態調査		
その他(公費負担医療など)			各制度の 事業統計等	各制度の データ等	-	

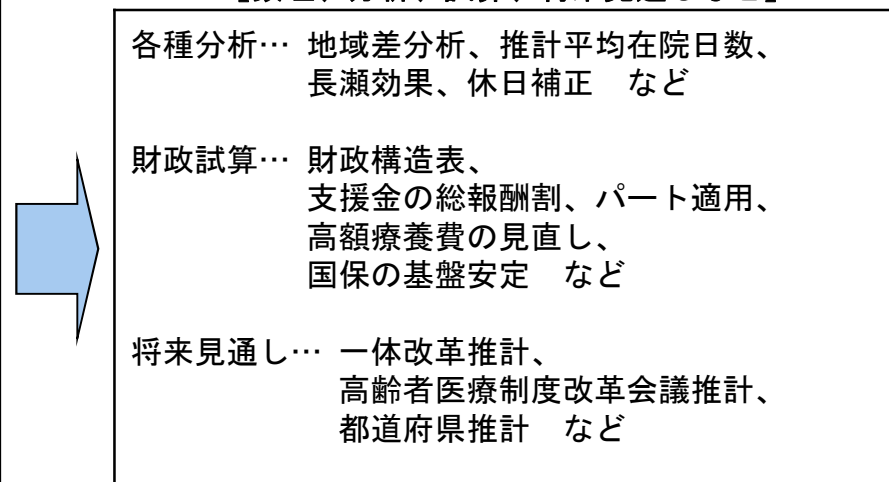
### 【加工統計等】



### 【関連統計等】



### 【数理、分析、試算、将来見通しなど】



※NDBよりデータ提供を受け、調剤メディアスと同様の詳細な統計の作成を予定

※網掛けは他省庁・他部局で実施している調査や推計。

## (参考2) 公表スタイル

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bu... 医療保険データベース | ... x

ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

文字サイズの変更 標準 大 特大

御意見募集やパブリックコメントはこちら 国民参加の場

テーマ別に探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書 所管の法令等 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療保険 > 医療保険データベース

### 健康・医療 医療保険データベース

#### ■ 全般的情報

1. 医療費の動向
  - [医療費の動向\[年次報告、月次報告、トピックス、概算医療費データベース、医療保険医療費データベース、参考\]](#)
  - [個別医療費の動向\[年次報告、月次報告、トピックス\]](#)
- [2. 医療給付実態調査](#)
3. 地域差分析
  - [医療費の地域差分析](#)
  - [市町村国民健康保険における保険料の地域差分析](#)
4. 保険者、医療機関の財政状況等に関する調査(医療経済実態調査)
  - [医療機関等調査](#)
  - [保険者調査](#)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bu... 医療保険データベース | ... x

- [保険者調査](#)
- [5. 医療保険に関する基礎資料](#)
  - 医療保険に関する基礎資料(年次報告)
  - 医療費の動向(国民医療費、後期高齢者(老人)医療費の動向)
  - 生涯医療費
  - 後期高齢者(老人)医療費の特性
  - 医療保険制度の財政構造表
  - 年齢階級別一人当たり医療費
  - ※これらの資料は平成22年度までは個別に公表していたが、平成23年度からは「医療保険に関する基礎資料」の中にまとめて掲載している。
- [6. 社会保険表章用疾病分類](#)

#### ■ 制度別情報

1. 被用者保険
  - [健康保険・船員保険事業状況報告](#)
  - [全国健康保険協会ホームページ\(統計情報\)](#)
  - [健康保険・船員保険被保険者実態調査](#)
2. 国民健康保険
  - [国民健康保険事業年報・月報](#)
  - [国民健康保険実態調査](#)
  - [国民健康保険医療給付実態調査\(～H19\)](#)
  - [国民健康保険診療施設年報\(～H19\)](#)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bu... 医療

- [国民健康保険医療給付実態調査\(～H19\)](#)
- [国民健康保険診療施設年報\(～H19\)](#)
- 3. 後期高齢者医療制度(老人保健制度)
  - [後期高齢者医療事業状況報告\(H20～\)](#)
  - [老人医療事業報告\(～H19\)](#)
  - [後期高齢者医療制度被保険者実態調査](#)

#### ■ 診療報酬関係情報

- [1. DPC導入の影響評価に関する調査](#)
- [2. 診療報酬改定の結果の検証について](#)

#### ■ <リンク集>

# 論点① 公表の早期化

## 【政府の目標】

- 政府の統計調査は、月次調査は60日以内、年次・周期調査は1年以内に公表することを原則目標としている。

## 【実態】

- 取り扱っている統計調査は、上記の公表までの期間について、概ね達成しているものの、保険者からデータを取得してから公表までに数ヶ月程度時間を要している調査は次のとおり。
- 月次調査について、健康保険組合事業状況報告は約7ヶ月程度、全国健康保険協会管掌健康保険事業状況報告と船員保険事業状況報告は約5ヶ月程度の期間を必要としている。
- 年次調査について、国民健康保険実態調査は、約1年2ヶ月程度の期間を必要としている(速報は1年以内に公表)。

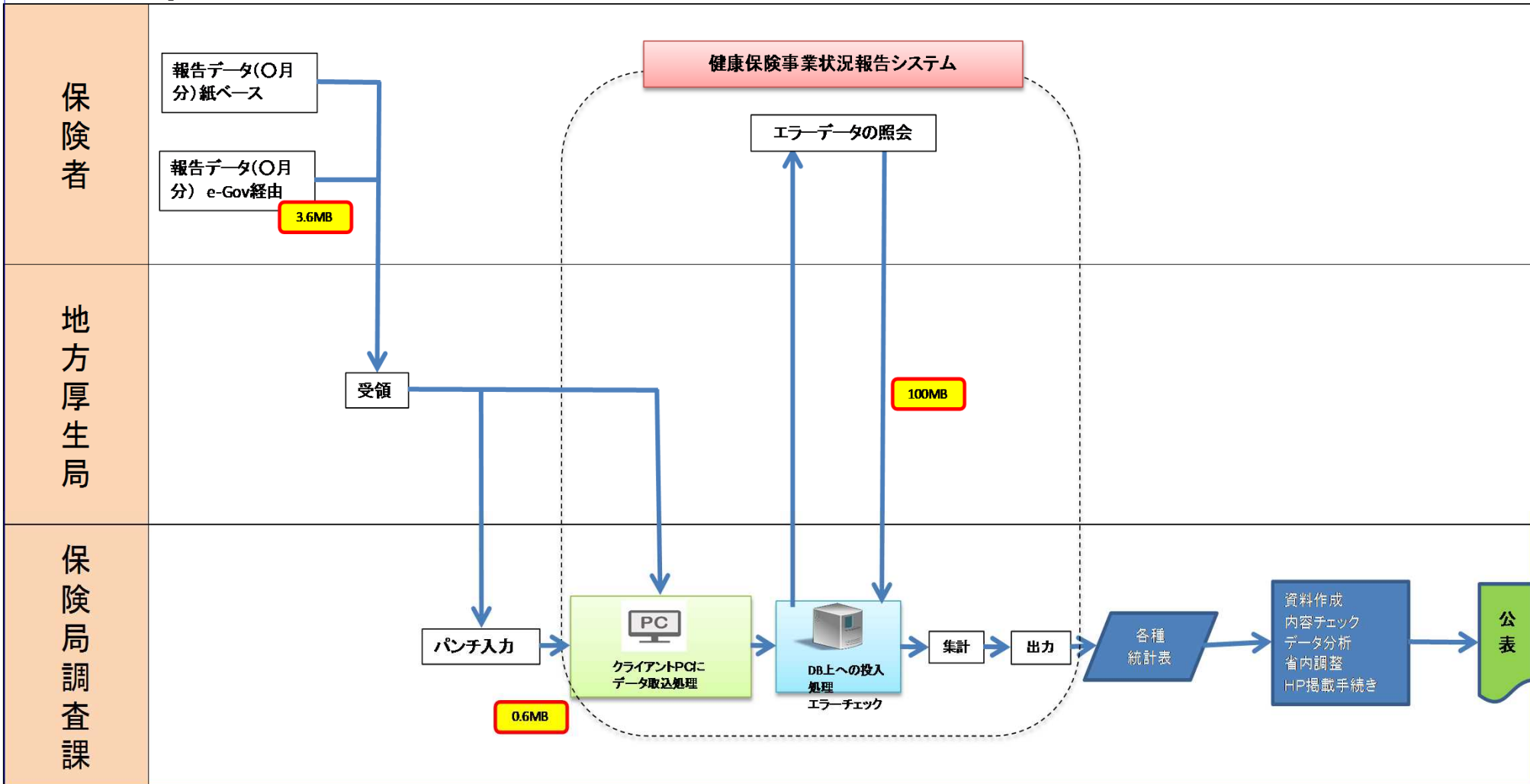
## 【改善策】

- 保険局調査課における統計業務の業務改革及びそれに伴うシステムの抜本的見直しについては、調査課の統計調査業務、またそれに伴うシステムの形について、ゼロベースから手順の点検を行い、その問題点及び解決策を策定することによって、今後の業務の効率化・アウトプットの向上を目指していく。(平成29年度に外部機関による調査実施を予定)
- なお、その際には、報告者である保険者等の負担軽減にも考慮した形で検討を行う。

# 論点①関係 主な事業の流れ図1

## 健康保険事業状況報告システム(月報)

データ通信量・処理量

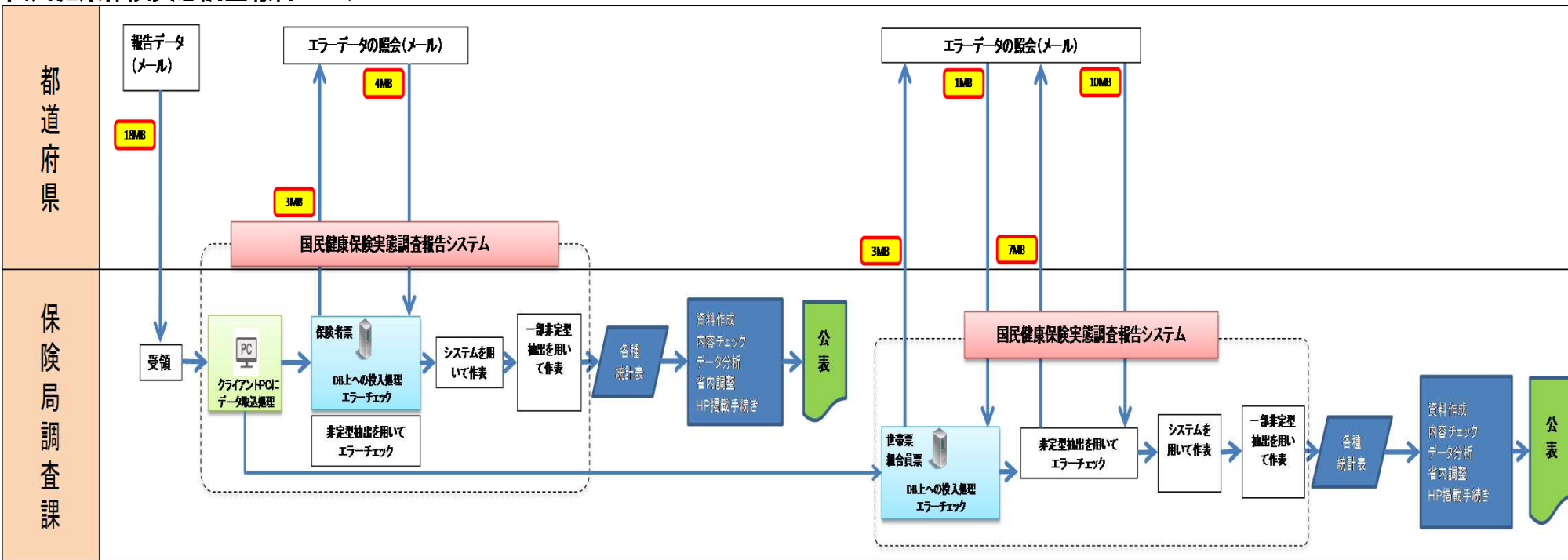


【参考】上記の保険者(健康保険組合)からのデータ提供方法については、電子報告と紙報告の割合は8対2となっている。(平成28年4月時点)

# 論点①関係 主な事業の流れ図2

## 国民健康保険実態調査報告システム

データ通信量・処理量





## 論点② 単位当たりコスト

- 単位当たりコストは、毎年度の執行総額を毎年実施の主な11事業(集計分析・公表数)で除した値としている。執行総額が増加した年度は、その分単位当たりコストに影響する。  
 <単位当たりコスト:(単位:百万円) 平成26年度:11、平成27年度:12、平成28年度:16>
- 改修等経費の予算額が増額している理由は、平成27年度から平成28年度にかけて、当該システムの更改・移行を行ったためである。
- また、運用保守費の予算額が増額している理由は、平成27年度から平成28年度にかけてのシステム更改に伴い、医療費等のデータ量の増大に対応するために、システム機器の機能向上を図ったためである。
- 改修等経費の予算の執行率が低い要因は、システム機器の機能改善に必要な予算を確保したが、競争入札の結果、契約額が予算額を大きく下回っているためである。

【医療費情報総合管理分析システムに要する経費の予算額及び執行額】

(百万円)

	26年度			27年度			28年度			29年度
	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率	予算額
運用保守費	40	40	100%	44	38	86%	76	68	89%	72
改修等経費	100	67	67%	167	85	51%	233	101	43%	162
データ提供費	9	9	100%	9	9	100%	9	9	100%	9
合計	149	116	78%	220	132	60%	318	178	56%	243

## 論点②関係 システムの主な改修内容

### ○平成27年度改修

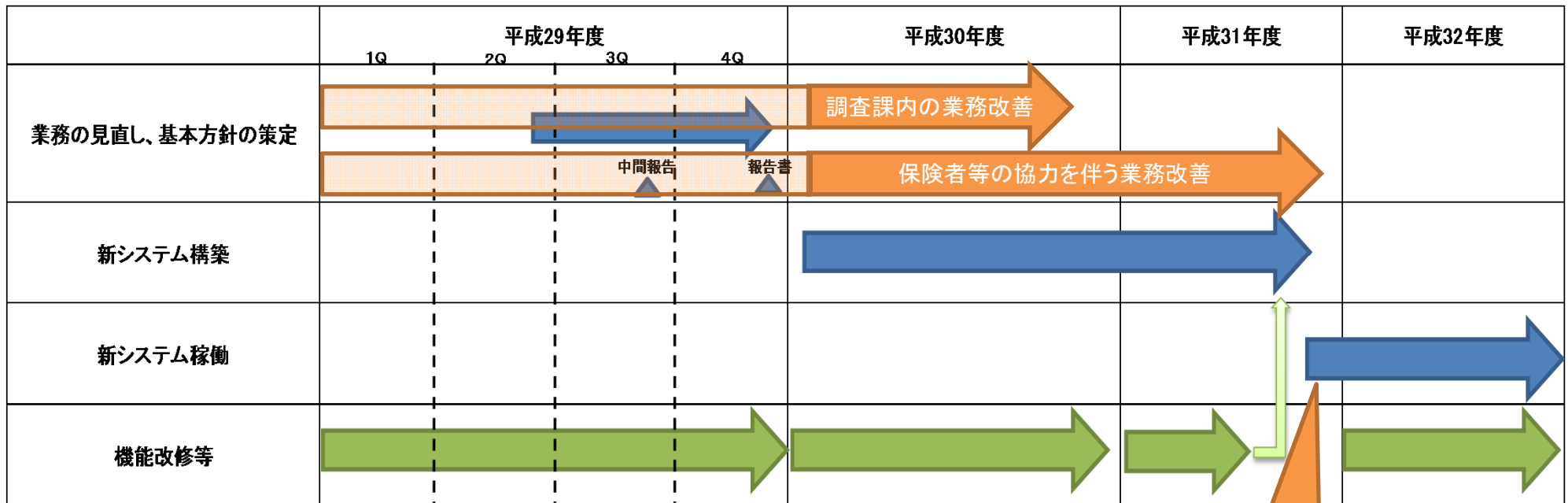
対象システム	改修内容
健康保険・船員保険事業状況報告システム	windows8.1への対応
	標準報酬月額の上限の引き上げに係る対応(帳票、受付データ変更等)
健康保険・船員保険被保険者実態調査報告システム	windows8.1への対応
国民健康保険実態調査報告システム	windows8.1への対応
	賦課上限変更等(制度変更)に係る対応(エラーチェック機能の変更等)
医療給付実態調査報告システム	windows8.1への対応
調剤報酬動向分析システム	データ削除、抽出業務

### ○平成28年度改修

対象システム	改修内容
健康保険・船員保険事業状況報告システム	windows10への対応
国民健康保険事業状況報告システム	調査項目の変更に係る対応(帳票、受付データ変更等)
後期高齢者医療制度事業状況報告システム	データ抽出項目の追加
健康保険・船員保険被保険者実態調査報告システム	windows10への対応
	標準報酬月額の上限の引き上げに係る対応(帳票、受付データ変更等)
国民健康保険実態調査報告システム	windows10への対応
	賦課上限変更等(制度変更)に係る対応(エラーチェック機能の変更等)
医療給付実態調査報告システム	windows10への対応
調剤報酬動向分析システム	平成28年度診療報酬改定に関する対応(調剤行為マスターの仕様変更、集計・出力機能の変更等)

# 今後の業務改善・システム変更の方針について

- 平成29年度に、調査課における現在の統計業務全般について業務フローの棚卸しを行い、今後の改善に係る基本方針を策定する予定。
- 今後、この基本方針等に沿った形で、業務フローの改善については、調査課内の対策等によって直ちに実行できるものについては、平成30年度中に改善を行いつつ、保険者等の協力が必要なものについては、30～31年度にかけて改善を行っていく。
- 業務改善に伴って必要となるシステムの変更については、平成32年度に予定されている新システムへの更新の際に反映が可能な部分についてはそこで織り込むものとし、そこで織り込めなかった部分については、システム更新後の機能改修等に対応する。



システムに関する改善

# 医療費情報総合管理分析システムに要する経費の見直し案

## 公表の早期化

- 公表までに時間を要している調査については、その原因を外部機関などの協力も得ながら調査し、また、保険者などの報告者の状況も踏まえながら改善を行い、公表の早期化を図る。

## 単位当たりコスト

- 平成30年度予算要求については、公表の早期化や執行状況などを踏まえながら対応する。また、仕様確定の早期化等により、見積もりなどの精緻化を目指す。
- コスト増への対応については、システムのトータルコストを削減していく観点から、長期的に見て効率的なシステム構築を行うための環境を整えることを目指す。